

大阪で初めてのロゲイニング。ロゲイニングは、オリエンティアだけではなく、他の競技者の参加が見込まれるので、各地で開催されることが多くなっています。さて、今回は…。

■ 全日本「みのお」の地図を ■

平成19年度の第34回全日本大会でリメイクした「みのお」の地図。実は白地図がまだ残っている。時間が経てばそれだけ地図としての精度も低くなり競技では使いにくくなる。そこで、この地図を利用して、大阪で初となるロゲインを開催することにしました。ロゲインなら、それほど微地形にコントロールを置かなくてもいいし、しかも高低差のある箕面だからこそ地図いっばいを利用して、時間のかかるコースを設定しやすい。また大規模なスコア形式なので、スタートなどに人員を分散せずともよく、運営者も少人数でなんとかなるということで、紅葉の始まる11月中旬に開催時期をあわせて、実施することにしました。

■ ランニング日より ■

当日は、ひんやりとする薄曇り。8時過ぎからぼちぼちと参加者が集まりだし、10時にスタート。今回は20分前に地図を配布しての作戦タイムがあります。ここで自分の力を考えてコースを組むのだが、あの箕面のアップダウンをどう攻略するかが鍵となります。運営者としては、3時間では満点が出ないようなコントロール配置だと思っていたのですが。



[箕面の滝のコントロール]

■ あやうく満点！ ■

グループも合わせて94組のスタート。今回は、僕は勝尾寺の給水所での待機。スタートから30分をすぎた頃から、選手が通過していき出しました。満点を狙うのなら東の勝尾寺から西の箕面の滝からか。

当日は、前日の雨も上がり紅葉を見る行楽客で、勝尾寺も箕面の滝も人でいっぱい。箕面の滝のコントロールは、すぐ近くに行かないと、人で見えないほど。コースになった山道もハイカーが多く、中には「山道を走らせるものじゃない」と苦情をいいにきた方もいて、平身低頭謝って理解を願いました。

通過する選手が少なくなって、競技時間が終わってから、撤収をしながら会場に向かいました。会場に着いて結果を聞いたところ、なんとトップは、990点！。ちょっとミスがなければ満点だった可能性のある方が2名もいました。あの高低差を3時間走りきる体力に脱帽です。



[勝尾寺付近で]

■ 副賞は特産品で ■

今回のロゲインでは表彰状は出さずに、副賞として賞品をお渡ししました。主催者からは「箕面ビール」「紅葉まんじゅう」「もんちゃんせんべい」。また協賛のゴールドウィンから「リュックサック」と「ボトルホルダー」が贈られました。



■ 山道での安全性 ■

先ほどのハイカーの苦情ではありませんが、トレイルランやハイキングなど色々な方が山を利用しています。お互いの安全を図りつつ、うまく自然を利用していきたいのですが、それぞれの言い分もあり、かみ合わないところもあります。ただ、オリエンタリングやロゲインをする上で、注意できる点は可能な限り対策を考えていかないと、競技そのものを拒絶される可能性もあります。このあたりは、しっかり考えていきたいものです。



(文責：KOLA 横田実)

アスリートクラス 男子個人

順位	名前	記録 (タイム)
1	中野 茂暢	990点 (2:51:08)
2	平井 均	980点 (2:42:28)
3	谷川 友太	970点 (2:49:35)

アスリートクラス 女子個人

1	田島 利佳	770点 (2:52:59)
2	篠原 夏子	750点 (2:54:00)
3	酒井 佳子	620点 (2:35:31)

